

第五十一回帝國議會
衆議院

海軍軍備制限ニ關スル條約ノ實施ニ伴フ損害ノ補償ニ關スル法律案(政府提出)委員會會議錄(速記)第二回

會議

大正十五年三月二十日(土曜日)午前十一時三十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 川原 茂輔君

理事 山本 厚三君

理事 川口 義久君

理事 田中 隆三君

理事 佐々木平次郎君

蟻川五郎作君

山田 道兄君

内田 信也君

三善 清之君

清水市太郎君

出席國務大臣左ノ如シ

海軍大臣 財部 彪君

出席政府委員左ノ如シ

大藏省主計局長 河田 烈君

海軍政務次官子爵 井上匡四郎君

海軍參典官子爵 伊東二郎九君

海軍主計中將 永安晋次郎君

海軍少將 小林 躋造君

海軍主計大佐 池邊 安雄君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

海軍軍備制限ニ關スル條約ノ實施ニ伴フ損害ノ補償ニ關スル法律案(政府提出)

○川原委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、内田信也君

○内田委員 昨日政府ニ要求致シテアリマシタ各造船所ヘ政府ガ爲シタル勸告ニ基イテ、必要ナル施設ヲ各造船所ハ施シタ、其施設ノ概要、ソレカラ註文船ヲ取消シタ一覽表、並工事ヲ中止シタ船ノ明細書等ノ御提出ヲ政府ニ求メマシテ、ソレニ依テ私ノ質問ヲ繼續シタイト思ヒマス

○永安政府委員 昨日御求ニナリマシタ政府ノ勸告ニ依リマス船ノ數、ソレカラ取消シマシタ船ノ數並ニ再註文ヲシタ額ヲ差引キマシタ純取消額ノ表ハ、出來テ居リマスカラ差上ゲマス、ソレカラ會社ガ政府ノ勸告ニ依リマシテ拵ヘタ施設ニ付キマシテ、マダ表ハ出來テ居リマセヌ、是ハ各會社ノ豫定書ヲ全部取調ベナケレバナラヌノデ、急速ニハ出來ナイノデアリマスカラ、今日ハ持ッテ參リマセヌ

○内田委員 ソレデハ配ラレタ表ヲユツクリ拜見致シマスガ、今政府委員ノ仰シタル所ニ依ルト、曾テ政府ガ爲シタル勸告ニ基イテ各會社ガ施シタル施設ニ付テノ表ハ、マダ出來ナイトノコトデアリマスケレドモ、是ハ甚ダ不都合極マルコトダト思フノデアリマス、即チ本案ノ骨子ハ第一條ニ書イテアリマス通りニ、海軍軍備補充計畫遂行ノ爲、政府ノ爲シタル勸告ニ基イテ、軍艦

兵器又ハ其材料ノ製造ニ必要ナル施設ヲ爲シタル會社ガ、海軍軍備制限ノ爲ニ其施設ガ無駄ニナツタカラ、ソレヲ補償スルト云フコトデアアル、而モ或ル會社ハ政府ノ勸告ニ基イテ特ニ其施設ヲ施シタノデハナクシテ、自分ノ思惑ニ依テ常ニ施設ヲ爲シテ居ルノデアアルカラ、其等ノ會社ガ別段損害ヲ被ツタ譯デヤナイ、單ニ希望利益ヲ失ツタニ止マル、然ルニ本案ハ時ノ海軍大臣加藤君ガ、オ前ノ會社ハ是ノ設備ヲシロ、軍艦何ミノ建造ヲシロト言ッテ特ニ勸告シテ施設ヲサセタカラ、其施設ガ無駄ニナツタ爲ニ氣ノ毒ダカラ涙金トシテ補償シテヤラウト云フノガ、本案ノ骨子デアリ生命デアアル、然ルニ其生命タル各會社ノ爲シタル施設其モノノ表ガ出來テ居ラヌト云フノハ、全ク政府ノ怠慢ナリト言ハナケレバナラヌ、昨日海軍大臣ノ御話ニ依レバ、本案ハ三派協調内閣ノ時ニ於テ、當時ノ閣僚諸氏ノ同意ヲ得テ居ッタト云フコトデアアルガ、吾ミハ其詳細ヲ知ラヌガ、要スルニ閣議ニ上ツタコトハ海軍大臣ノ御話デ明カデアアル、即チ四十九議會ニ於テ補償ヲシヤウト云フ御案ガ海軍大臣ノ手ニ在ッタニ拘ラズ、四十九議會ハ特別議會デアアルカラ、議會ノ性質上之ヲ提案スベキデナイトシテ提案セズニ置キ、更

ニ五十議會ニモ之ヲ上セズシテ、五十議會ノ將ニ會期モ終ラントスルニ際シテ、突如トシテ之ヲ出シテ居ルガ、過去二箇年間ニ互テ政府當局ハ何ヲ爲シテ居タノデアアルカ、本案ノ骨子タル所ノ勸告ニ基イテ爲シタル施設其モノガ御分リニナラヌデ、ドウシテ此二千二百萬圓ヲ補償スルト云フ數字ガ出來タノデアアルカ、私ハ此點ニ對シテ頗ル不滿ヲ表スルト同時ニ、今日マデニ其表ガ出來テ居ラヌト云フコトニ對シテ、更ニ政府ノ責任アル御答辯ヲ求メマス

○永安政府委員 只今表ガ出來テ居ナイト申シマシタノハ、皆様ニ差上ゲルヤウニ多數ノ表ガ出來テ居ラヌト云フ意味デ申上ゲタノデアリマス、ソレデ會社ニ要求シマシタ直接ノ設備ノ器具、機械等ノ總額ノ表ハ出來テ居リマスガ、ソレ等ノ工場トカ、名前等ノ明細書ガ出來テ居ラヌカラ、ソレハ後ニ作ッテ差上ゲルト申上ゲタ次第デアリマスカラ、總額デモ宜シケレバ差上ゲマス

○内田委員 私ノ要求スル所ハ各會社ニ對スル明細書デアリマス、併ナガラ明細ガマダ出來テ居ナイト仰シヤレバ、已ムヲ得マセヌカラ各會社分ケノ總額デモ宜シイカラ、參考ノ爲ニ戴キタイガ、明細ヲ承リマセヌト、本論ノ進

行ニ行詰ツテシマフノデアリマス、而モ此會社ハ斯ウ云フヤウニ一々明細書ハ到底今出來ナイト仰シヤルガ、ソレマデモ拵ヘテ、提案者ハサウ云フモノヲ添ヘテ吾々議員ニ其成行内容ヲ明カニスルモノガ私ハ當然デアルト思ヒマス、併シ出來テ居ナイモノヲ何ト言ツテモ仕方ガナイカラ、セメテハ各會社ノ總額デモ私ハ承リタイノデアリマス

御手許ニナケレバ、私ダケ之ニ依テ質問應答致シマシテモ、委員會ノ議事進行ヲ圓滿ニ遂行スルコトハ出來ナイト思ヒマスカラ、之ノ調製ヲ待ツテ質問ヲ開始シタイト思フノデアリマス、私ダケ頂戴致シタ所デ他ノ方ガ御持チニナラナケレバ、質問ノ目的ヲ達スルコトハ出來ナイト思フ

○清水委員 只今三善君カラ内田信也君ノ要求サレタ參考材料ガ配付サレルマデハ議事ノ進行ガ出來ナイト言ハレマスガ、是ハ數量ニ關スル材料デアリマシテ、原因ニ付テノ材料デハナイ、原因ニ付テハ即チ勸告ナリ契約ナリガ有ツタ以上ハ、拂ハナケレバナラヌト云フ意味ニナルノデアリマスカラ、數量ヲ調べルコトハ後デモ、支拂ノ原因ガアレバ是ハ拂ハナケレバナラヌ事ニナルノデアリマスカラ、順序トシテハ――

ト申シマスノハ、當時加藤海軍大臣ガ關係會社ノ社員ヲ官邸ニ招集致シマシテ、八八計畫ニ對スル將來ノ豫定表ヲ内示致シマシテ、ソレニ依テ注文豫定ノ各艦船ノ數ヲ其諸會社ニ示シタノデアリマス、斯ウ云フ艦ヲ將來オ前ノ所ニ注文スルカモ知レナイカラ、ソレニ對スル相當ノ設備ヲシテ置イタ方ガ都合ガ好カラウト、斯ウ云フ風ニ大臣ガ言ハレタノデアリマス、私モ其席ニ居リマシタ、其設備ハ、オ前ノ所ニ「ガントリクレイン」ヲ拵ヘロトカ、或ハ何噸ノ「ブレス」ヲ造レト言ツテ、各細カイ種類ニ付テ海軍大臣ガ施設ヲ勸告シタ次第デアリマセヌ、斯ウ云フ艦ヲ注文スルガオ前ノ方デ十分引受ケラレルヤウナ相當ノ設備ヲシロト云フ意味ニ於テ勸告サレタノデアリマス、即チ只今差上ゲマシタ表ハ、會社ガ自分ノ方デ特ニ其勸告ニ基イテ増設シタト認メルモノヲ會社カラ言出シテ來タ總額デアリマス、併ナガラ海軍ニ於テハ其總額ガ全部勸告ノ取消ノ爲ニ不用ニナツタカドウカト云フコトヲ、別ニ相當ノ官吏ヲ遣ツテ調査致サセタノデアリマス、其次ニ尙ホ申上ゲマスコトハ、是ハ昨日説明致シマシタ時分ニ申上ゲタ通り、此ノ度二千二百萬圓ト云フ金額ノ出マシタノハ、其各設備費ニ付テ一々調査シテ二千二百萬圓ト云フモノガ出タノデアリマセヌノデ、ソレハ補償ヲ致シマス一ノ方法デモアラウト云フコト

○三善委員 只今政府委員ハ大分御考ニナツテ居ルヤウデスガ、大體此案ハ加藤友三郎君ノ、アア云フ頭ノ好イ洵ニ賢明ナ人デアッタガ、其當時ニ於テスラ此要求ヲシナカッタト云フコトハ甚ダ奇怪ニ考ヘル、其間今日マデ七八箇年經過シテ居ル、實ハ現在ノ政府委員諸君ハ内容等モ十分實際ニ於テ御承知ナイドラウト思フ、吾々ニ於テ勿論デアリマス、故ニ只今内田君ノ請求致シマスル此勸告ヲ致シタト云フ其内容ハ何會社ニハ如何ナル勸告ヲシタカ、凡ソ金額ニシテドレ程ノモノヲサセルコトニシタカ、サウ云フ根底ガナカッタラ、マルデ此案ハオ化デ、實際ニ捉ヘ所ガナイ、議事ノ進メ様ガアリマセヌ、其參考書ヲ御提出ニナルマデハ此會ハ止メタイト思フ、サウシナケレバ議事ノ進行ハ出來マセヌ、要求致シマス

○内田委員 議事進行ニ付テ發言ヲ求メマス――只今本員ダケニ固定資本ノ補償要求額種目別内譯ト云フモノヲ頂戴致シマシタケレドモ、是ハ各委員ノ

追テハサウ云フ參考材料ガ銘々ノ手許ニナケレバナリマセヌガ、原因ニ付テ質問應答スルコトハ出來ルノデアリマスカラ、其原因ニ付テノ質問應答ヲ進メルコトハ一向差支ナイト思ヒマス、議事ノ進行ヲ中止スルニハ及ブマイト思ヒマス

○財部國務大臣 今内田君ノ御話ノ中ニ、大正九年當時ノ海軍當局者カラ當業者ニ指示シタ所ノ艦ノ數トカ何トカガ、マルデ分ラヌカラト云フ御話デアリマシタガ、ソレハ表ヲ差上ゲテアル筈デアリマスカラ、御覽ヲ願ヘバ大體

○永安政府委員 只今内田サンノ御説デアリマスガ、此法案ノ第一條ニ「海軍軍備補充計畫遂行ノ爲政府ノ爲シタル勸告ニ基キ」云々トアリマスガ、此勸告

ニ、大正九年當時ノ海軍當局者カラ當業者ニ指示シタ所ノ艦ノ數トカ何トカガ、マルデ分ラヌカラト云フ御話デアリマシタガ、ソレハ表ヲ差上ゲテアル筈デアリマスカラ、御覽ヲ願ヘバ大體

ト申シマスノハ、當時加藤海軍大臣ガ關係會社ノ社員ヲ官邸ニ招集致シマシテ、八八計畫ニ對スル將來ノ豫定表ヲ内示致シマシテ、ソレニ依テ注文豫定ノ各艦船ノ數ヲ其諸會社ニ示シタノデアリマス、斯ウ云フ艦ヲ將來オ前ノ所ニ注文スルカモ知レナイカラ、ソレニ對スル相當ノ設備ヲシテ置イタ方ガ都合ガ好カラウト、斯ウ云フ風ニ大臣ガ言ハレタノデアリマス、私モ其席ニ居リマシタ、其設備ハ、オ前ノ所ニ「ガントリクレイン」ヲ拵ヘロトカ、或ハ何噸ノ「ブレス」ヲ造レト言ツテ、各細カイ種類ニ付テ海軍大臣ガ施設ヲ勸告シタ次第デアリマセヌ、斯ウ云フ艦ヲ注文スルガオ前ノ方デ十分引受ケラレルヤウナ相當ノ設備ヲシロト云フ意味ニ於テ勸告サレタノデアリマス、即チ只今差上ゲマシタ表ハ、會社ガ自分ノ方デ特ニ其勸告ニ基イテ増設シタト認メルモノヲ會社カラ言出シテ來タ總額デアリマス、併ナガラ海軍ニ於テハ其總額ガ全部勸告ノ取消ノ爲ニ不用ニナツタカドウカト云フコトヲ、別ニ相當ノ官吏ヲ遣ツテ調査致サセタノデアリマス、其次ニ尙ホ申上ゲマスコトハ、是ハ昨日説明致シマシタ時分ニ申上ゲタ通り、此ノ度二千二百萬圓ト云フ金額ノ出マシタノハ、其各設備費ニ付テ一々調査シテ二千二百萬圓ト云フモノガ出タノデアリマセヌノデ、ソレハ補償ヲ致シマス一ノ方法デモアラウト云フコト

ト申シマスノハ、當時加藤海軍大臣ガ關係會社ノ社員ヲ官邸ニ招集致シマシテ、八八計畫ニ對スル將來ノ豫定表ヲ内示致シマシテ、ソレニ依テ注文豫定ノ各艦船ノ數ヲ其諸會社ニ示シタノデアリマス、斯ウ云フ艦ヲ將來オ前ノ所ニ注文スルカモ知レナイカラ、ソレニ對スル相當ノ設備ヲシテ置イタ方ガ都合ガ好カラウト、斯ウ云フ風ニ大臣ガ言ハレタノデアリマス、私モ其席ニ居リマシタ、其設備ハ、オ前ノ所ニ「ガントリクレイン」ヲ拵ヘロトカ、或ハ何噸ノ「ブレス」ヲ造レト言ツテ、各細カイ種類ニ付テ海軍大臣ガ施設ヲ勸告シタ次第デアリマセヌ、斯ウ云フ艦ヲ注文スルガオ前ノ方デ十分引受ケラレルヤウナ相當ノ設備ヲシロト云フ意味ニ於テ勸告サレタノデアリマス、即チ只今差上ゲマシタ表ハ、會社ガ自分ノ方デ特ニ其勸告ニ基イテ増設シタト認メルモノヲ會社カラ言出シテ來タ總額デアリマス、併ナガラ海軍ニ於テハ其總額ガ全部勸告ノ取消ノ爲ニ不用ニナツタカドウカト云フコトヲ、別ニ相當ノ官吏ヲ遣ツテ調査致サセタノデアリマス、其次ニ尙ホ申上ゲマスコトハ、是ハ昨日説明致シマシタ時分ニ申上ゲタ通り、此ノ度二千二百萬圓ト云フ金額ノ出マシタノハ、其各設備費ニ付テ一々調査シテ二千二百萬圓ト云フモノガ出タノデアリマセヌノデ、ソレハ補償ヲ致シマス一ノ方法デモアラウト云フコト

○永安政府委員 只今内田サンノ御説デアリマスガ、此法案ノ第一條ニ「海軍軍備補充計畫遂行ノ爲政府ノ爲シタル勸告ニ基キ」云々トアリマスガ、此勸告

ニ、大正九年當時ノ海軍當局者カラ當業者ニ指示シタ所ノ艦ノ數トカ何トカガ、マルデ分ラヌカラト云フ御話デアリマシタガ、ソレハ表ヲ差上ゲテアル筈デアリマスカラ、御覽ヲ願ヘバ大體

ト申シマスノハ、當時加藤海軍大臣ガ關係會社ノ社員ヲ官邸ニ招集致シマシテ、八八計畫ニ對スル將來ノ豫定表ヲ内示致シマシテ、ソレニ依テ注文豫定ノ各艦船ノ數ヲ其諸會社ニ示シタノデアリマス、斯ウ云フ艦ヲ將來オ前ノ所ニ注文スルカモ知レナイカラ、ソレニ對スル相當ノ設備ヲシテ置イタ方ガ都合ガ好カラウト、斯ウ云フ風ニ大臣ガ言ハレタノデアリマス、私モ其席ニ居リマシタ、其設備ハ、オ前ノ所ニ「ガントリクレイン」ヲ拵ヘロトカ、或ハ何噸ノ「ブレス」ヲ造レト言ツテ、各細カイ種類ニ付テ海軍大臣ガ施設ヲ勸告シタ次第デアリマセヌ、斯ウ云フ艦ヲ注文スルガオ前ノ方デ十分引受ケラレルヤウナ相當ノ設備ヲシロト云フ意味ニ於テ勸告サレタノデアリマス、即チ只今差上ゲマシタ表ハ、會社ガ自分ノ方デ特ニ其勸告ニ基イテ増設シタト認メルモノヲ會社カラ言出シテ來タ總額デアリマス、併ナガラ海軍ニ於テハ其總額ガ全部勸告ノ取消ノ爲ニ不用ニナツタカドウカト云フコトヲ、別ニ相當ノ官吏ヲ遣ツテ調査致サセタノデアリマス、其次ニ尙ホ申上ゲマスコトハ、是ハ昨日説明致シマシタ時分ニ申上ゲタ通り、此ノ度二千二百萬圓ト云フ金額ノ出マシタノハ、其各設備費ニ付テ一々調査シテ二千二百萬圓ト云フモノガ出タノデアリマセヌノデ、ソレハ補償ヲ致シマス一ノ方法デモアラウト云フコト

ト申シマスノハ、當時加藤海軍大臣ガ關係會社ノ社員ヲ官邸ニ招集致シマシテ、八八計畫ニ對スル將來ノ豫定表ヲ内示致シマシテ、ソレニ依テ注文豫定ノ各艦船ノ數ヲ其諸會社ニ示シタノデアリマス、斯ウ云フ艦ヲ將來オ前ノ所ニ注文スルカモ知レナイカラ、ソレニ對スル相當ノ設備ヲシテ置イタ方ガ都合ガ好カラウト、斯ウ云フ風ニ大臣ガ言ハレタノデアリマス、私モ其席ニ居リマシタ、其設備ハ、オ前ノ所ニ「ガントリクレイン」ヲ拵ヘロトカ、或ハ何噸ノ「ブレス」ヲ造レト言ツテ、各細カイ種類ニ付テ海軍大臣ガ施設ヲ勸告シタ次第デアリマセヌ、斯ウ云フ艦ヲ注文スルガオ前ノ方デ十分引受ケラレルヤウナ相當ノ設備ヲシロト云フ意味ニ於テ勸告サレタノデアリマス、即チ只今差上ゲマシタ表ハ、會社ガ自分ノ方デ特ニ其勸告ニ基イテ増設シタト認メルモノヲ會社カラ言出シテ來タ總額デアリマス、併ナガラ海軍ニ於テハ其總額ガ全部勸告ノ取消ノ爲ニ不用ニナツタカドウカト云フコトヲ、別ニ相當ノ官吏ヲ遣ツテ調査致サセタノデアリマス、其次ニ尙ホ申上ゲマスコトハ、是ハ昨日説明致シマシタ時分ニ申上ゲタ通り、此ノ度二千二百萬圓ト云フ金額ノ出マシタノハ、其各設備費ニ付テ一々調査シテ二千二百萬圓ト云フモノガ出タノデアリマセヌノデ、ソレハ補償ヲ致シマス一ノ方法デモアラウト云フコト

ヲ昨日申上ゲタ、併シ是ハ非常ニ困難
デアリマスノデ、更ニ請負代價ト、ソレ
カラ特設施設ノ銷却額ト比較シテ何
割ニ當ルカ其方が容易クモアリ、又正
當ノ理由ガアルト信ジテ、第二ノ方法
ニ依テ計算シマシタ額ガ二千二百萬圓
ニナルト申上ゲテ置キマシタ、其點ヲ
御諒承ヲ願ヒマス

○三善委員 私ノ議事進行ニ對シテ清
水君ハ反對ノ意見ヲ述ベラレタガ、私
ハ數量ヲ要求シテ居ルノデハナイ、清
水君ニ似合ハス、斯様ナ朦朧曖昧ナ案
ノ原因ヲ十分ニ知ラズシテ、ドウシテ
議事ノ進行ガ出來マスカ、只今政府委
員ノ御説明ヲ承ルノニ、固ヨリ當時海
軍大臣ガ會社ヲ呼ンデ、政府ハ斯様斯
様ナ海軍擴張ヲアルノデアルカラ、各
其準備ヲシタラ宜カラウト云フコト
ヲ論サレテ、所謂勸告ニ應ジテ各會社
ガ準備シタ事ハ事實デアリマス、其準
備シタニ付テハ自ラ會社ノ準備ノ内容
ガ違フ、實際ニドノ位ノ準備ヲシテ居
タト云フ其調査ガナケレバ、損害補償
案ノ計算ガ出ナイ筈デアアル、ソレヲ要
求シテ居ルノデアリマス、數量デハナ
イ、各會社ノ設備ノ内容ト云フモノヲ
詳細ニ御調べニナッタモノガナケレバ、
此計算ハ出テ來ナイ、此計算ハ當時加
藤友三郎君ノ海相時代ノ計算デアアル
カ、其後今日ニナッテ御拵ヘニナッタ
デアアルカ、其事モ伺ヒタイガ、要スル
其會社毎ニ其内容ニ付テ詳細ノ説明ガ

此處ニナケレバ、議事ノ進行ハ出來ヌ
ト思ヒマス、是非御出提ニナリタイト
思ヒマス

○川原委員長 三善君ハ材料ヲ請求ナ
サルダケデ宜シウゴザイマスカ

○三善委員 サウデス、ソレヲ出サナ
ケレバ議事ノ進行ハ出來ヌ

○川原委員長 議事ノ進行ノ可否ハ兎
ニ角、アナタノ議事ノ進行ハ材料ノ提
出ナリト委員長ハ認メテ居リマスガ、
ソレデ宜シウゴザイマスカ

○三善委員 サウデス

○川原委員長 ソレナラバ宜シウゴザ
イマス

○清水委員 三善君ハ私ノ言ウタ事ヲ
少シ誤解シテ居ラレルヤウデアリマ
ス、材料ノ提出デスカラ——質問ガア
レバ質問ヲナサイ

○清水委員 質問ヲシマス、私ガ伺ヒ
タイノハ……

○内田委員 私ノハ議事ノ進行デ、質
問ハ留保シテアリマス

○川原委員長 今日ハ順ガ狂ウテ居リ
マスカラ後デ……

○清水委員 海軍大臣ノ御陳述ニナリ
マシタ所カラ考ヘトスルト、本件ノ賠
償ハ勸告ニ止マルモノデアッテ、契約デ
ハナイ、法律上又ハ權利上、支拂ヲセン
ケレバナラヌモノデハナイガ、德義上
又國家ノ信用ヲ保ツ上ニ於テ拂フベキ

モノデアルト云フヤウニ承リマシタ、
然ルニ又政府委員ノ御話ナリ、又昨日
ノ大臣ノ御話ニ依テ見ルト、何會社ニ
ハ軍艦何ニ幾ツ、驅逐艦何隻ト云フヤ
ウニ申込シテ居ル、サウ云フ方カラ考
ヘルト、ドウモ勸告ト云フ程度ハ通り
越シテ、ドウシテモ契約ノ申込ノ趣意
ニナルヤウニ思ハレルノデアリマス、
少クトモサウ云フコトヲ申込マレタモ
ノハ、ソレダケノ註文ハ必ズ來ルモノ
デアッテ、ソレダケノ準備ヲセネバナ
スト云フ決心ヲサセルヤウナ風ニナ
テ居ル、ソレデアリマスカラ單ナル勸
告ニ止ッテ、サウシテ是ハヤッテモヤ
ラヌデモ宜シイモノダト云フ意味ノモ
デハナイヤウデアリマス、申込ヲ受ケ
タ所ノ各會社ハ、契約ノ形式ニナッテ
居ッテ、國家ガ公法人デナシニ、民法上
ノ人格ニ依テ申込シタ契約ノヤウナ風
ニナッテ居ルト思ハレル、サウ云フ趣意
デアリマスレバ、是ハ御情ケデ以テ支
拂ヲ受ケルモノデナク、契約ニ依テ準
備シ、設備シ、原料ヲ買入レ職工ヲ振當
テタト云フヤウナ、現實上ノ實費ナリ
損害ガ生ジテ來テ居ル、デアリマスカ
ラ是ハ權利トシテ會社ガ請求スルモノ
デアッテ、國家ハ公法人デナシニ民法上
ノ人格ニ依テ、支拂フベキモノノヤウ
ニ思ハレルノデアリマス、同ジ支拂ヲ
受ケマスルニモ、御情ケデ御拂ヒニナ
ルト云フノト、權利トシテ會社ハ要求
シ得ルモノデアアルカラ、國家ハ義務ト

シテ支拂ハネバナラヌ、斯ウ云フ事ト
ハ大分茲ニ性質ヲ異ニシテ居ル、殊ニ
國家ガ德義上拂ハネバナラヌモノデ拂
フト云フコトニナリマス（三善委員
「政府委員ニナッタカ」ト呼フ）默ッテ居
レ——此種類ノモノハ幾ラモアルノデ
アリマスカラ、サウ云フ性質デ、德義上
ノモノデ御支拂ヒニナルト云フコトデ
支拂フ、斯ウ云フ事デ寧ロ……（三善委
員「政府委員ニナッタカ」ト呼フ）

○清水委員 拂フベキモノハ拂ハネバ
ナラヌ、斯ウ云フ意味デアアルカ、之ヲ茲
ニ明確ニセラレルガ必要デアアルヤウニ
思フノデアリマス、單ニ勸告ニ止マル
ト云フ趣意デアアルカ、勸告ヲ超越シタ
一種ノ契約、少クトモ申込ヲ受ケタル
者ハ契約サレルベキモノデアアル、註文
ヲサレルベキモノト確信シテヤル程度
ノモノデアアルカト云フコトニ依テ、支
拂フベキ義務ガ國家ハアル、斯ウ云フ
モノデアリハシナイカ、承リタイノデ
アリマス、ソレカラ又是ハ契約デハア
ルケレドモ、契約ハ此履行ガ法律ノ結
果ニ依リ 若クハ條約ノ效力ニ依テ、強
制的ニソレガ履行ガ出來ナクナル場合
若クハ任意の、ヤラヌデモ宜イ場合、此
二ツノ場合ニ遭遇シタノデアアルカラ、
即チ華府會議ノ條約ノ結果サウ云フコ
トガ出來ナクナッタノデアアルカラ、不
抗力ヲ廣義ニ解釋スレバ、即チ法律ノ
結果デ履行セヌデモ宜シ、若クハ履行

スルコトが出来ナクナッタ——條約ノ結果履行が出来ナクナッタ、若クハ履行ヲセズモ宜クナッタ云フコトニ依テ契約ガアツテモソレハ支拂ハヌデモ宜イヤウニナル、ソレデアルカラ必ズシモ支拂ハネバナラヌモノデハナイ、斯ウ云フ契約が出来タガ、サウ云フ廣義ノ不可抗力ノ一種ニ依テ履行セズモ宜イヤウニナッタ云フヤウナ御解釋ニナルノデアルガ、此點ヲ審ニ承ツテ置ク必要ガアル、ソレハ先刻モ申シマス通りニ、德義上支拂ハネバナラヌモノデアルカラ、賠償ヲ支拂フト云フナラバ、德義上支拂ハネバナラヌモノハ澤山アルノデアリマス、是以上惘然ナ支拂ハネバナラヌモノヲ、國家ガ支拂ハヌデ居ルモノハ大分アル、デアルカラ單ニ德義上ノモノデアルカラ支拂フト云フコトデナク、ソレヨリ進ンデ有力ナモノデアツテ、會社ハ國家ニ對シテ權利トシテ請求シ得ル性質ノモノデアルカラ支拂フト云フコトデハナイカ、此邊ノ所ヲ今一應承ツテ置キタイト思ヒマス

○永安政府委員 只今ノ御質問ハ昨日モ御説明申上ゲマシタヤウニ、此當時ノ海軍大臣ガ諸會社ニ勸告シマシタ事柄ハ、契約ノ豫約トハ見ラレナイモノト私ハ解釋致シテ居ルノデアリマス、契約ハ御承知ノ通り政府デ取結ビマスノハ、所謂様式契約デアリマシテ、ソレガ本契約ニナツテ初メテ契約ノ効力ガ現ハレマス、其本契約ニ對スル豫約トデモ見ルベキモノデアルナラバ、是ハ同ジク様式デナケレバナラヌト云フノガ普通ノ民法上ノ通説デアリマス、唯大臣ガ會社ニ對シテ勸告ヲ致スニ止マルノハ、是ハ契約ノ豫約デモ何デモナイト考ヘルノデアリマス、隨テ私法上ノ損害賠償ト云フコトハ、ドウシテモ起リ得ナイト考ヘマス、唯時ノ政府ノ國務大臣ガ、殆ド豫約ニ類似シタヤウナコトヲ話シマシテ、假令向フガ其勸告ニ應ズルヤ否ヤハ自由デアリマストハ云ヘ、相當自分ノ所デ艦船ノ製造ヲ引受ケル意思ガアツテ、相當ノ施設ヲ施シタモノニ對シテ、法律上何モ賠償ノ義務ハナイカラト云ツテ其儘抛棄致シマスノハ、如何ニモ政府ノ威信ニ關スルト云フ見地カラ、補償金ヲ幾ラカヤラウト云フ徑路ニナツテ居ルノデアリマスカラ、此點ハ御諒承願ヒマス

○清水委員 契約ハ様式契約デアルト云フ政府委員ノ御話デアリマスルガ、勸告シタ際ニ、軍艦是レ是レ、何々ヲ幾ラト云フヤウニ書イタ書付ニ、主任ノ認印デモ押シタモノヲ會社ニ渡シタヤウナコトハナイノデアリマス、若シサウ云フヤウナモノガ行ツテ居テ、契約ノ文句ハ口頭デ御話ニナツテモ、サウ云フ認印ヲ押シタヤウナ書類ガ行ツテ居レバ、法律上認メラレタ所ノ契約ニナルノデアリマスガ、何カ書類ニ認印ノ据ッタモノヲ御出シニナツタコトハナイノデスカ、是ハ法律論ニナリマスガ、サソ云フ點ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○永安政府委員 當時各會社ニ表ヲ分配致シタト私ハ記憶致シテ居リマス、ソレハ唯大キナ表ニ將來ノ計畫ヲ書イタモノデ、川崎造船所ニハ斯々云フ船ヲ注文スル豫定デアル、併シソレハ政府ノ考デアアル、又三菱ニモ斯ウ云フ船ヲ注文ニ行ク豫定デアルト云ツタヤウナモノヲ示シタダケデアリマス、各會社ニヤリマシタ表ハ、唯ソレヲ記憶ノ便ノ爲ニ參考迄ニ各會社ニヤリマシタ次第デアリマシテ、印ヲ押シ或ハドウスルト云フ所謂豫約ノ申込ノヤウナ形式ハ取ツテ居リマセヌデス

○清水委員 政府委員ノ御話デ略分リマシタガ、少クトモ政府ノ諸會社ニ對シテ取ラレタ態度ハ、如何ニモ斯ウ云フ註文ハアルベキモノデアルト云フコトヲ確信致シマシテ、隨テソレニ依テ準備ナリ着手ヲ致シタモノト認メルノガ事實デアリマス、見様ニ依リマシテハ斯々ノ事ハ必ズ起ル、斯々ノ事イ必スセネバナラヌト云フコトヲ信ゼシメテ居ル、左様ナ意思ニ立ッモノハ、假令形式的ニ明確ナ契約が出来テ居ナクテモ、ソレニ依テ生ジタ損害ナリ費用ナリニ對シテハ、相當責任ヲ負フヤウナ事ニナルト思ヒマス、併シ政府ノ様式契約ト云フコトデ認印ノ据ッタ書類ガ渡ツテ居ナケレバ、完全ナ契約トハ申サ

○熊谷委員 曩ニ八々艦隊ノ計畫ガ御廢メニナリマシテ、戰艦其他ニ對シテノ損害ヲ、政府カラ損害賠償トシテ補償金ヲ支拂ッタコトハ、前ノ議會ニ於テモ協賛ヲ與ヘタ筈デアリマスガ、其事ニ於テハ前ニ同僚ノ内田信也君カラモ質問ガアリマシタガ、非常ナル設備ヲヤツタ者ニ對シテハ、賠償ニ幾分ノ按排ヲシタコトガナイカト云フ御問ガアリマシタガ、政府委員ハソレニ對シテ御答ガナイ、又其場合ニ於テ按排ヲシナイトスルナラバ、今日出テ居ル所ノ設備ト云フモノニ付テハ、多大ナル損害ヲシテ居ルカラ、會社側カラ海軍側ニ向ツテ陳情シタニ相違ナイ、補給シテ下サイトカ、或ハ相當ノ方法ヲ取ツテ下サイト云フ上申ガアツタラウト思ヒマス、其場合ニ於テ政府ガ之ニ對シテハ相當考慮ヲスル、一ツ考ヘテ見ヤウト云フヤウナ暗示ヲ與ヘラレタヤウナコトガ

アリマシタデセウカ、吾々ノ考ニ依レバ、政府ハ全然サウ云フコトヲヤッタモノデハナイ、單ニ德義上ノモノデアルト云フナラバ、サウ云フモノハ澤山アル、ソレヲ一々補償スルト云フヤウナコトヲヤッタ飛ンダコトダト思フ、一國ノ國務大臣ガ勸告ヲシタカラ補償シナケレバナラヌト云フコトヲ言ヒ出シタラ、是ハ各省ニ色ミナ事ガアリハセヌカト思フ、此點ニ付テ政府委員ノ御答辯ヲ求メマス

リマス、ソレハ中止ヲ命ジマシタ時ニ至ルマデノ工事ニ對スル材料、ソレカラ工事及其繼續中ノ相當ト認ムル利益ヲ精算シマシテ、打切ッテ代價ヲ仕拂ヒマシタノデアリマス、尙ホソレニ付キマシテ準備シマシタ材料モ政府ガ購買シテヤリマシタ、併ナガラ其場合ニ對スル補償ト云フモノハ加賀ニモ土佐ニモ愛宕ニモ高雄ニモ何ニモ含ンデ居リマセヌ

居ルコトハ事實デアアル、又之ヲ研究シテ居ナイヤウナコトデアッタナラバ、一國ノ國防ハ安心ガ出來ナイ、艦政本部ハ各造船所ノ設備ヲ知ッテ居ル、オ前ノ方ハ是ダケノ設備ヲシテ呉レ、サウ云フ勸告ヲシテ、サウシテソレデ以テ初メテ我國ノ造船計畫ヲ立テ、現ニソレヲヤッテ居ッテ、私モ微力デアアルケレドモ當時ソレヲ知ッテ居ル、又此設備ノ小サイモノ、縱ハ藤永田造船所ノ如キ小サナ設備ノ造船所ハ、例ハスウ云フ亞鉛鍍金場ヲ造レト云ッテ設備ヲ勸告シタ、ソレデ以テ是ダケノ製艦能力ガ我國ニアルト云フコトヲ知ルコトガ初メテ出來テ、議會ニ於テ八八艦隊ニ付テハ我國ニ於テ官設ノ工場ニ於テ是ダケノ能力ガアル、民間ノ造船所ニ於テハ是ダケノ能力ガアルト云フコトヲ當時ノ議會ニ於テ説明シタノデアアル、其勸告シタ設備ガ無駄ニナツタカラ之ヲ補償シテヤルト云フノガ法ノ精神デアアル、單ニオ前ノ所ヘ契約シテヤルカラト云ッテ、軍艦ノ數兵器ノ數ヲ示シテアッテ、其軍艦三隻ナラ三隻ノモノヲ二隻ニシタ、戰艦ヲ輕巡ニシタトカ特務艦ニシタトカ云フダケノ、所謂吾々民間ニ於テ賣買契約デモシテ、其契約ヲ取消シテ即チ違約金ヲ拂フト云フヤウナコトデハナイト云フコトハ、先刻政府委員ノ説明スル所デアアル、單ニ賣買契約ヲ取消シタ場合ハ契約金ノ一割ヲ拂フトカ、二割ヲ拂フトカ云フノガ習慣デア

アリマスガ、此方ハ計畫變更ノ爲ニ被リタル損害ニ對シテ補償スルト云フコトガ第一條ニ書イテアル、若シ三菱造船所ガ戰艦土佐ヲ造リ得ルダケノ十二分ノ設備ヲ平素カラ勝手ニシテ居ッテ、其處ヘオ前ノ方ニ士佐ヲ註文スル、其他ドウ云フ戰艦ヲオ前ノ所ニ注文スルト云ッテ、ソレガ軍備縮少ノ結果取消シタト云フコトニナレバ、其三菱造船所ハ單ニ利益ヲ失ッダケデアリマシテ、損害ヲ受ケテハ居ナイ、第一條ニハ被リタル損害ヲ賠償スルト云フコトガアルノデ、希望利益ヲ賠償スルノデハナイ、ソレデアリマスカラ、勸告ニ基イテ施設シタ其内容ヲ承知シナケレバナラヌ、其施設ガ後ニ商船ヲ拵ヘルニ利用スルコトガ出來ルノカ、實際其設備ガ無駄ニナツシマツタノカ、室蘭ノ製鋼所ノヤウニ、十六時ノ砲ヲ造ルコトノ出來ル設備ヲシタ、是ナドハ誰ガ見テモ無駄ニナル、是ハ利用ノ出來ル設備ガ無駄ニナル設備カト云フコトヲ知ラナケレバナラヌ、ソレガ分ラナケレバ國民ノ膏血ヲ絞ッテ二千二百萬圓ノ巨額ヲ支出スルト云フコトニハ賛成ガ出來ナイ、殊ニ是ハ國民疑惑ノ中心トナッテ居ル案デアアル、故ニドウシテモ此勸告ニ基イテ爲シタル施設ノ内容ヲ知リタイト同時ニ、只今勸告取消調査ト云フモノヲ戴キマシタガ、是ハ洵ニ不十分デアアル、勸告取消戰艦何ミト云フヤウナコトガアリマスガ、是ハ起工ノ月日ガ

○財部國務大臣 其當時ノ事ハ——今

○内田委員 先刻政府委員ノ御話ニ依

告シタ、ソレデ以テ是ダケノ製艦能力

ノデ、希望利益ヲ賠償スルノデハナイ、

テ居ルモノハアリマセヌガ、大正十二

告ト云フモノハ、單ニ八八艦隊ノ計畫

初メテ出來テ、議會ニ於テ八八艦隊ニ

シタ其内容ヲ承知シナケレバナラヌ、

スガ、其當時其前ヨリ補償ノ必要ガア

ノ内容ヲ示シテ、サウシテ各當事者ノ

付テハ我國ニ於テ官設ノ工場ニ於テ是

其施設ガ後ニ商船ヲ拵ヘルニ利用スル

ル、此調査ヲシナクテハナラヌト云フ

勸告ニ止マルヤウナ御話デアリマシ

ダケノ能力ガアル、民間ノ造船所ニ於

コトガ出來ルノカ、實際其設備ガ無駄

コトデ、大藏省ノ官吏ト海軍省ノ當務

者ト委員ト云フ名ハ付ケマセヌデシタ

テハ是ダケノ能力ガアルト云フコトヲ

ニナツシマツタノカ、室蘭ノ製鋼所ノ

ガ、委任サレタ人ミガ、今度此補償ヲ致

知ッテ居リマス、併ナガラ苟モ國防ノ責

其勸告シタ設備ガ無駄ニナツタカラ之

ル設備ヲシタ、是ナドハ誰ガ見テモ無

サウト云フ各會社ニ付キマシテ、親シ

任ヲ有スル所ノ海軍、殊ニ其ノ艦政本部

アル、單ニオ前ノ所ヘ契約シテヤルカ

駄ニナル設備カト云フコトヲ知ラナケ

ク調査ヲ致シタノデゴザイマス、ソレ

ニ於キマシテハ、此造船會社ニハ是ダ

ラト云ッテ、軍艦ノ數兵器ノ數ヲ示シテ

レバナラヌ、ソレガ分ラナケレバ國民

デ先刻ノ御言葉ノ中ニ暗示ト云フコト

ケノ設備ガアル、此造船會社ニハ是ダ

アッテ、其軍艦三隻ナラ三隻ノモノヲ二

支出スルト云フコトニハ賛成ガ出來ナ

フ、ソレデ各會社ハ補償ハシテ貰ヘルモ

ケノ設備ヲ増シタナラバ、戰艦例ヘバ

艦ニシタトカ云フダケノ、所謂吾々民間

ル案デアアル、故ニドウシテモ此勸告ニ

ノト斯ウ考ヘテ居ルダラウト信ジテ居

力ガアルト云ッテ、具體的ニ各造船所ノ

ニ於テ賣買契約デモシテ、其契約ヲ取消

基イテ爲シタル施設ノ内容ヲ知リタイ

リマス、書イタモノハ引繼イダコトハ

設備ヲ艦政本部ニ於テハ研究シテ居

シテ即チ違約金ヲ拂フト云フヤウナコ

ト同時ニ、只今勸告取消調査ト云フモ

ゴザイマセヌ

ル、是ハ斯ウ云フ設備ヲスレバ何萬噸

トデハナイト云フコトハ、先刻政府委

ノヲ戴キマシタガ、是ハ洵ニ不十分デ

○永安政府委員 一寸間デ御話シテ置

ノモノガ出來ル、船渠ハ何呎延バセバ

員ノ説明スル所デアアル、單ニ賣買契約

アル、勸告取消戰艦何ミト云フヤウナ

キマスガ、注文シマシタ艦ノ工事ヲ中

何噸ノモノガ出來ルト云フコトヲ、常

ヲ取消シタ場合ハ契約金ノ一割ヲ拂フ

コトガアリマスガ、是ハ起工ノ月日ガ

止シマシタモノニ對シマシテハ、賠償

ニ「テクニカル」ニ艦政本部デ研究シテ

トカ、二割ヲ拂フトカ云フノガ習慣デ

コトガアリマスガ、是ハ起工ノ月日ガ

ト云フコトハヤッテ居リマセヌノデア

ニ「テクニカル」ニ艦政本部デ研究シテ

トカ、二割ヲ拂フトカ云フノガ習慣デ

コトガアリマスガ、是ハ起工ノ月日ガ

○永安政府委員 一寸間デ御話シテ置

ノモノガ出來ル、船渠ハ何呎延バセバ

員ノ説明スル所デアアル、單ニ賣買契約

アル、勸告取消戰艦何ミト云フヤウナ

キマスガ、注文シマシタ艦ノ工事ヲ中

何噸ノモノガ出來ルト云フコトヲ、常

ヲ取消シタ場合ハ契約金ノ一割ヲ拂フ

コトガアリマスガ、是ハ起工ノ月日ガ

止シマシタモノニ對シマシテハ、賠償

ニ「テクニカル」ニ艦政本部デ研究シテ

トカ、二割ヲ拂フトカ云フノガ習慣デ

コトガアリマスガ、是ハ起工ノ月日ガ

ト云フコトハヤッテ居リマセヌノデア

ニ「テクニカル」ニ艦政本部デ研究シテ

トカ、二割ヲ拂フトカ云フノガ習慣デ

コトガアリマスガ、是ハ起工ノ月日ガ

書イテナクテハ吾々ハ困ル、即チ工事中ノ艦ヲ中止シタルノデアルカ、若クハ直グ二箇月三箇月先ニ其工事ニ着手シヨウト云フ艦ヲ中止シタルノデアルカ、二年先ノ先物ノ註文ヲ受ケタルヲ取消シタルノデアルカ、其工事ヲ始メル時ノ如何ト云フコトハ、損害ヲ補償シテヤル採算ニ最モ重要ナル關係ガアルノデアルカラ、此取消シタル軍艦、兵器ノ其起工ノ時ハ何時デアアルカト云フ、豫定起工日ヲ之ニ御附加ヘテ願ヒタイト思フ、ソレカラ昨日モ私御尋シテ置キマシタガ、ソレヲ知ラナケレバ職工ノ解僱ト云フコトガ分ラナイ、解僱職工數ト云フノガアリマスガ、之ノ如キハ來年起工スベキモノヲ取消サシテモ關係ハナイ、工事ヲシテ居ルモノヲ中止ヲサシテ是デ初メテ職工ノ解僱ト云フモノガ行ハレルノデアル、ソレカラ又川崎ハ職工三千五百人ヲ解僱シタ 三菱ハ三千七百七人ヲ解僱シタト云フ數字ガアリマスガ、是ハ昨日政府委員ハ解僱ノ實際數デアルト云フコトヲ御説明ニナリマシタガ、是ハドウシテ此解僱ノ實際數デアルト云フコトヲ御立證ニナルカ、此立證ノ書類ヲ私ハ明示シテ戴キタイ、要スルニ一ノ造船所ニ於テハ此軍艦ヲ造ルダケノ職工トシテ傭入レルモノデナクシテ、職工ハ默ッテ居レバ減ル、軍艦ヲ拵ヘルニハ職工ガ要ル、其軍艦ヲ取消サレルト職工ヲ解僱スルト云フコトヲ直覺的ニ御考ニナルカ知レマ

セヌケレドモ、職工ト云フモノハ是ハ恰モ水ノ自然ニ蒸發スルガ如クニ、職工ト云フモノハ默ッテ居レバ年ニ一割乃至二割ハ自然ニ減ル、ソレハ吳ヤ横須賀ナドニ於テハ其趣ヲ異ニシテ居リマスガ、普通ノ民間ノ造船所ノ統計ニ於テハサウデアアル、而シテ昨日私ノ申上ゲタ通り、川崎造船所ニ於テハ己ノ會社ハ一人トシテ職工ヲ整理シタコトハナイ、會社ノ方カラ首ヲ減ツタコトハナイト云フコトヲ再々言明シテ居ル、然ルニ此造船所ハ幾ラノ職工ヲ減ツタト云フコトガアルガ、是ハ果シテ會社ガ減ツタノデアルカ、職工ノ方カラ自然ニ減ツタノデアルカ、其區別ハ何處デ付イテ居ルカ、恐ラク此數字ハ會社ガ幾ラ傭ッテ居ルト云フコトヲ、地方ノ縣廳ニ届ケル、毎月届ケル、ソレヲ其時ニ減ツタ數量ヲ算出シテ此所ヘ出シタモノデハナイト思フ、サウスレバ海軍ノ工事ノ中止シタコトニ依テ減ツタ職工デナクシテ、自然ニ減ツテ行ク職工ノ解僱賃ヲ政府ガ持ツト云フ觀ガアルト思フ、又第四十五議會ニ於テ岡田政府委員ハ、失業ガ出來ハセヌカト云フ議員ノ質問ニ對シテ、戰艦中止シテモ、今中止スルノハ主力艦デアアル、是ハ中止シテモ特務艦ノ製造ヲ命ズルカラ、職工ノ失業者ハ起ラヌト云フコトヲ言明シテ居ル、サウシテ現ニ特務艦ヲ註文シタ、サウシテ置イテ川崎、三菱ガ工事ノ中止ニ依テ三千五百トカ、三千七百ト

カラ解僱シタト云フコトハ受取レナイ、故ニ此職工ノ解僱ハ、工事中止ニ依テ直接ニ減ラレタルノデアルト云フ立證ヲ政府ニ求ムルノデアリマス、マダ色質問シタイコトガアリマスガ、第一ニ先刻來三善君モ仰シタル通り、政府ノ勸告ニ基イテ爲シタル設備ノ内容ト云フモノヲ承知シナケレバ、論議ヲ進メルコトガ出來マセヌカラ、ソレマデハ質問ヲ保留シテ中止シテ置キマス

○財部國務大臣 段々細カナ事ニ付テ御質問ガゴザイマシタガ、詳シイ點ハ政府委員カラ申上ゲマスガ、設備ニ付テ——施設ニ付テ補償スルト云フコトデアアルカラ、内示ニ依テドレ位ヤッタノデアアルカ、ソレハ幾ラノ價格ニ當ルカト云フコトガ分ラナケレバ議論ガ出來ヌト仰シタルヤウデアリマスガ、是ハ一應御尤デアアルト思ヒマス、ソレデ實ハ政府委員カラ申上ゲタ通り、最初ハソレヲ能ク調査致シマシテ、實際其爲ニ——内示ヲ受ケテ施設ヲ致シタ、サウシテソレハ、註文ヲ致サヌ爲ニ豫期ニ反シテ、註文ヲ受ケナクナツタ爲ニ利用ノ途ガナクナツタモノハドレデアアルカ、之ヲ積算シテ行ケバドウナルカト云フコトモ、詳シク調査ヲ致サレタノデアリマス、所ガソレハ中ニ區分ガ——是ハ果シテ外ニ全ク利用ガ利クカ、利カヌカ、果シテ内示ヲ受ケタ爲ニダケヤッタノデアアルカ、又他ノ思惑モ持ッテヤッタノデアアルカ、中ニムヅカシイ間

題デアリマシテ、ドウシテモ是デヤッタ日ニハ、適當ナル公平ナル結論ハムヅカシイト云フ所カラ、所謂第二法デ、將來是ダケノ註文ヲ受ケル筈デアッタ、之ヲ受ケテ遂行サレタ日ニハ是ダケノ利益ヲ受ケタルデアッタト云フ其利益ノ高ト、ソコラ邊ノ事ヲ第二法ニ依テヤッタノデアリマス、第二法ニ基イテ此率ヲ定メテ致シタルデアリマスカラ、勿論諸會社ガ致シタル所ノ設備ナドヲ調査モ致サズ、好イ加減ニヤツタコトデハゴザイマセヌ、實地踏査マデ致シテ詳シク調べタルノデ其調査モアルノデゴザイマスケレドモ、此度提出致シマシタ此補償額ノ基ク所ハ、昨日來政府委員カラ申上ゲル所ノ其方法ニ依テ算出シテアリマスカラ、其法デ行クト云フコトニ御賛成ヲ得タイト考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレガ崩レマス根本ガ崩レテ來ルト考ヘルノデアリマス、サウスルト意見ガ違フト云フコトニナル、政府ノヤツテ居ル其趣意ニ依テヤツテ行ク以上ハ、昨日來御説明申上ゲマシタヤウナコトデ少シモ間違ッテハ居ラヌト考ヘテ居リマス、尙ホ詳シイ事ハ政府委員カラ申上ゲマス

○永井政府委員 只今職工ノ解僱員數ノ算出ノ基ヲ御尋デアリマシタ、是ハ表ガ出來テ居リマスカラ差上ゲマス、尙ホ松方サンガ、自分ノ所デハ軍縮ノ影響ニ依テ一人モ減ラシテ居ラヌ、減ルノハ自然ノ減員デアルト云フコトヲ

仰シヤッタト云フ御話デアリマシタガ、内田サンニ松方サンガ言ッタコトハ確カデアリマセウガ、私ノ方ニハ軍縮ニ因ル減員ガ是ダケデアルト云フ調書ガ出テ居リマス、其點ヲ御承知置テ願ヒマス

○内田委員 是ハ大問題ガ起リチヤッタト思フ、此法案ノ第一條ニ明示シテアル通り、此法案ハ計畫ノ變更ノ爲被リタル損害ニ對シテ之ヲ補償スルト云フ

ノガ法ノ生命デアアル、然ルニ海軍大臣ハ今、施設ヲ命ジタ、其施設ノ損害ヲ賠償シテヤルト云フノデ色ミ工風シタケレドモ、中ミ「デリケート」デアルカラ、已ムヲ得ズ第二法ニ依テ、即チ初メ内

示サレタ所ノ數量ノ註文ヲ完成シタナラバ幾ラ利益ガアル、其失ハレタル所ノ利益ヲ補償スルノゴト云フ、ソレ等

ノ損害補償デナクテ、希望利益ノ補償デ、海軍大臣ノ説明ハ、根本ノ損害賠償トハ性質ヲ異ニシテ居ルト思フ、頗ル

重大ナルモノデアアル、ソレデハ本案ハ根本的ニ崩レテシマフ、ソレヲ伺ヒタイ、

サウナッテ來ルト玆ニハッキリ明確ニ答辯ヲ得テ置キタイ、第四十九議會ニ提案シヤウト思ッタモノヲ、何故ニ今日マ

デ引張ッテ、議會ノ會期切迫シタ今日、國民疑惑ノ中心タル本案ヲ一氣呵成ニ吾ミノ所ヲ通過セシメヤウト云フノカ、責任アル答辯ヲ求メルノデアリマ

ス、海軍大臣ノ答辯ヲ求メマス
○財部國務大臣 私ハ希望利益ト云フ

コトハ申サナカッタ積リデアリマスガ、併シ會社ガ被ッタ損害製造計畫ノ變更ノ爲被リタル損害ニ對シテハ、本法ニ依リ補償スルコトヲ得ルト云フノデ、損害ガ基ニナテ居ル、損害ノ計算ノ基ヲ申シタノデアリマス、其損害ヲ算出スルニ付テハ、將來註文スル等デアッタ其艦ガ計算ノ基ニナッテ居ルト云フコトヲ申シタノデアリマス

○内田委員 海軍大臣ハ損害ノ補償ト仰シヤッタカ、當然得ラルベキ利益ヲ失ツタ、其利益ノ賠償ト仰シタカト云フコトハ、滿場ノ諸君ガ既ニ御承知ノ通りデアリマス、更ニ速記録ヲ調べレ

バ直グ分ルコトデアリマスカラ、速記録ニ依テ海軍大臣ノ答辯ヲ更ニ調べマシテ、其上ニ於テ又質問應答ヲ重ネル

コトニ致シマス、尙ホ私ノ質問ニ御答ノナカッタノハ、第四十九議會ニ提案スベキ等デアッタノヲ、特別議會デ性質ガ

違フカラ提案シナカッタ、サウシテ今ニナッテ此會期切迫ノ際ニ於テ、國民ノ疑惑トナッテ居ル所ノ本案ヲ、一氣呵成ニ通過セシメヨウトスル其御趣意ヲ承リ

タイノデアリマス、此點ニ對シテハ先刻來數回質問ヲシテ居ルガ、一向ニ御答辯ガアリマセヌケレドモ、此際簡明ニ御答ヲ得タイノデアリマス

○財部國務大臣 其點ニ付テハ、海軍當局トシテモ成ベク早ク議會ニ懸ケテ貰ヒタイト云フ考ヲ以テ、議會ニハ餘以前カラ出シテ置イタノデアッテ、而

モ過去二箇年間ハ何ヲシテ居ッタト云フヤウナ御話モアッタヤウデアリマス

ガ、本案ハ諸所デ審議ヲシテ、色ミナル關門ヲ經テ來ナケレバナラヌ事情ガアリマシタ爲ニ、段々ト遅レテ、今期議會ニ提案シタヤウナ次第デアリマス、本議會ニモ決シテ突如トシテ出シタノデハアリマセヌデ、今日ヨリ二週間バカリ以前ト思ヒマスガ、既ニ議會ニハ提出シテ居ッタト思ヒマス、加之、日程ニ上リマシタノハ今カラ約二週間モ以前デアッタト思ヒマスガ、其後中ミ議會ノ議事ガ進シマセヌデ、遂ニ今日ニ至ッタヤウナ次第デアリマスカラ、此點

ハ獨リ海軍當局者ノミガ遅ラシタノデハナイノデアリマシテ、海軍當局トシテハ、成ベク早ク審議セラルルヤウニシテ、御疑問ノ點モアリマセウカラ、ソ

レ等ニ對シテハ十分ニ取調べマシテ、詳細ニ御答辯申上ゲ、以テ本案ガ満足ニ通過スルヤウニ致シタイト云フ考デ

ニヤッタノデアリマシテ、當局ガ故意ニ遅ラカシタト云フヤウナコトハ全クアリマセヌカラ、此點ハドウゾ宜シク御諒承ヲ願ヒマス

○熊谷委員 只今内田君ノ御質問ニ對シテ、海軍大臣ノ御答ハアリマシタケレドモ、第二ノ計算方法ニ依テ御算定

ニナッテモ、第一ノ計算方法ニ略近イモノデナケレバ、本案ハ根本カラ壞レナケレバナラヌ、サウ云フ理由ヲ以テマシテ、只今ノ内田君ノ御質問ノ、如何ナ

ル會社ガ果シテ、ドレダケノ設備ヲ爲シタモノデ、ドレダケノ損害デアアルカト云フヤウナ詳細ノ點ニ付テノ御報告ヲ得ナケレバ、本案ノ審議ハ不可能デア

ルト思フ、成程第二ノ方法モ一ツノ算定方法デアリマセウ、併シ其算定方法ナルモノガ正確ナルモノデアルト云フ

コトハ、第一ノ算定方法ト云フモノト略似寄ッタモノデナケレバナラヌト思フ、此間ニ大變ナル距離ガアルナラバ、第二ノ計算方法ト云フモノハ迂散デア

ルト思ヒマス、サレバ議員ヲシテ満足セシムルヤウナ材料ヲ御提出アラシユトヲ希望シテ置キマス、更ニ大藏大臣

ノ御出席ヲ求メタノデアリマスガ、御病氣ノ爲ニ御出席ガナイノデアリマスガ、是ハ重大ナル法案デアリマスルカ

ラ、大臣自ラノ御答辯ヲ得タイト思ッタノデアリマスケレドモ、御出ニナリマセヌカラ、已ムヲ得ズ大藏省所管ノ政

府委員ニ御問ヒシマスガ、先ヅ第一ニ本案ハ海軍軍備制限ニ關スル條約ノ實施ニ伴フ損害ノ補償ニ關スル法律案デア

リマスガ、此根柢ハ契約ニ基ク賠償デアアルカ、補償金デアアルカ、此處ニハ明ニ補償金ト書イテアリ、海軍大臣ノ御

辯ニ依テモ補償金ト云フコトデアアルガ、私ハ契約ニ依ル所ノ賠償デナク、德義上ノ補償金ト思ヒマスガ、此點ニ對スル大藏當局ノ政府委員ノ御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○河田政府委員 熊谷君ノ御質問ニ御

答へ申上ゲマス、私ハ遅レテ參リマシタ爲ニ、海軍大臣ノ御答辯ハ承リマセヌガ、大藏當局ニ於キマシテモ、今回此法案ヲ提出致シマシテ、造船會社其他ニ支給スベキモノハ、契約ニ基ク賠償ト云フ法律上ノ義務ニ依ル所ノ賠償金ニアラズシテ、德義上ノ補償金デアルト考ヘテ居ルノデアリマス

○熊谷委員 サウ云フ御意見デアルトスルト、華盛頓條約ニ依テ、海軍軍備ノ縮少ヲスル、或ハ山東ヲ返シタカ云フヤウナ種々ナル問題ト云フモノガ起ツテ來ルノデアアル、即チ職務上ノ契約ニ基イテ、サウシテ損害賠償金ガアルナラバ、政府ハ必ズ之ニ向ッテ賠償金ヲ拂ハナケレバナラヌト思フガ、此間非常ニ「デリケート」ナモノガアルノデ、實際ハ契約デアアルカノ如ク、或ハ契約デナイカノ如ク、其區別ガ非常ニムジカシイヤウナモノガ澤山出テ來ル、曩ニ政府ガ賠償シタ所ノ鹽田ノ如キ、又今日モ斯ノ如キ問題ハ澤山殘ッテ居ルノデアアルガ、本問題ノ如ク、政府ノ勸告ニ依テ大變ナ設備ヲシタガ、華盛頓條約ノ結果、其設備ト云フモノガ全然無効ニナッタヤウナ場合ニ於テモ、政府當局ハ、其モノニ對シテ本案ノ如ク同一ナル御取扱ヒヲセラルルノデアリマスカ、其點ヲ伺ヒタイ

○河田政府委員 御答ヲスル前ニ一應事情ヲ申上ゲタ方ガ宜カラウト考ヘマスカラ申上ゲマスガ、先ヅ第一ニ、八々

艦隊計畫ノ遂行ニ當リマシテ、時ノ海軍大臣ガ、是ガ關係者ヲ招カレマシテ、契約ヲセラレタノデハゴザイマセヌケレドモ、其施設ノ完成ヲ實行スルヤウニ懇談ガアッタ、而シテ各當業者ハ之ニ基イテ相當ノ設備ヲセラレマシタノデ、當リ前ナラバ其儘支障ナク事ガ進行スベキモノデアッタ、然ルニ軍備制限ノ條約ガアッタ爲ニ、其進行ガ出來ナクナッタノデ、國際間ノ平和會議等ハ往々見ル所デアリマスガ、今回ノ華盛頓會議ト云フガ如キ非常ニ特色アル、而モ急激ナル所ノ國際的ノ條約ト云フ如キハ、極メテ稀ナルモノデアッテ、後段述べマシタヤウナ理由ニ依テ生ジタル損害ニ對スル、政府ノ德義上ノ補償ト云フ如キ事例ハ、今後屢アルベキモノデハナイト思ヒマス、然ルニ只今ノ熊谷君ノ御話ノ如ク、今後ニ於テモ此種ノモノガ起ツタナラバ如何ニスルカト云フ御話デアリマスガ、事ノ重大ナルト輕微ナルトニ依テ、程度ノ差ハアリマセウガ、而モ是ハ一例ニ過ギマセヌガ、青島ニ於テ事業ニ從事シテ居リマシタ者ニ對シテハ、三百五十萬圓カ或ハモ少シ多額デアッタカモ知レマセヌガ、政府ハ特殊ノ貸付金ノ方法ヲ取ツテ、相當救済ノ途ヲ講ジテ居リマス、又是ハ例ガ少シ異ッテ參リマスケレドモ、日獨戰爭ノ結果損害ヲ生ジタルモノ、或ハ迦ッテ日露戰爭等ニ依テ損害ヲ被ツタモノニ對シテハ、政府トシテハ義務

ハゴザイマセヌガ、德義上若クハ其他ノ途ヲ以テ、相當救済ノ方法ヲ講ジタト云フコトハアルノデアリマス、而シテ本案ノ如キ場合ハ稀デアリマスルカラ、一概ニ一般的ニスルノ如キ救済方法ヲ講ズルト云フコトハ、抽象的ニ申上グルコトハ出來マセヌガ、萬一本案ト同一ノモノガ將來ニ於テ生ジマシタナラバ、同様ニ取扱ハナケレバナラヌト思ヒマス

○熊谷委員 只今政府ノ御答辯ニ依ルト、大臣ガ直接ニ設備ヲスルコトヲ命ジタカラ、會社ガソレヲシタト云フ、大臣ノ顔ニ免ジテモ大變ナ重大ナコトダト云フコトデアリマス、第二點ハ華盛頓會議ガ決議ヲシテ居ッテ、ソレニ依テ打切ニシタノデアアルカラ、之ニ對シテ補償ヲシナケレバナラヌト云フヤウナ御答ニ承リマシタ、政府ガ或ル命令ヲ發シタ場合、命令ヲ發シテ斯ウ云フコトヲヤッタ方ガ宜イデハナイカ、斯ウ云フコトヲシタ方ガ宜イデハナイカト云フヤウナ勸誘ヲシタヤウナ場合、政府ガヤッタ場合大臣ノ請託デナイ——又其設備ト云フモノガ華盛頓條約ノ如キ條約ノ結果ニ依テ全然無用ノモノニナルト云フヤウナ場合ニ於テハ、矢張第一デモ第二デモ即チ政府委員ガ説明サレマシタ所ノモノニ殆ド該當スルモノガアッタナラバ、之ニ對シテ政府ハ補償セラレルノデアリマセウカ

○河田政府委員 前回、後段ニ於テ御

答辯申上ゲタ通り、サウ云フ場合ガ生ジタルナラバト云フ抽象的ノコトハ御答致シ兼ねマス、併ナガラ同様ナ場合ガ生ジマシタ其場合ニ當リマシテ、政府ハ之ヲ考慮シナケレバナラヌモノト考ヘテ居リマス

○三善委員 華盛頓會議ニ依テ突然此擴張計畫ガ變ッテ來タコトハ、是ハ天災不可抗力ノ如ク見テ、其損害ヲ補償シテアルコトハ當然ダト思フ、併ナガラ先刻海軍大臣ノ御答辯ニ依ルト、會社ガ豫定シタ利益ガ得ラレナカッタカラ、其損害ヲ補償シテアルト云フヤウナコトハ問題ニナラナイ、ソレ故ニ私共ガ要求スルノハ、如何ナル設備ヲシタカ、其設備ノ内容ニ依テ是ハ決定スベキ問題デアラウト思ヒマス、固ヨリ會社モ即チ國民デアッテ、其國民ニ國家ガ損害ヲ掛ケテ、其儘打棄ッテ置クト云フ譯ニ行カヌコトハ當然デアリマス、併ナガラ二千何百萬圓ト云フ一般國民ノ負擔デアル、故ニ吾々ハ其設備ノ内容ヲ見テ、適當ナル損害補償デアルト云フモノニ對シテ賛成ヲ致シタイカラ、其材料ヲ要求シテ居ルガ、困難デアッテ御調ベガ出來ナケレバ——其内容ノ漠タルモノニ對シテアルト云フコトハ甚ダ穩カデナイ、ドウシテモ其材料ヲ提出ヲシテ戴キタイ

○財部國務大臣 設備ノ點ハ大分澤山ノ材料ガアルノデアリマスカラ、出來ルダケノ御目ニ掛ケル積リデ居リマ

ス、ガ併シ曩ニ申上ゲル通り政府ハ唯ドウ云フ會社ニ此度ノ補償ヲヤルカト言ヘバ、當時ノ當局者ノ内示ニ基イテ施設ヲヤッタ、其會社ニシテ此軍縮ノ爲ニ損害ヲ被ッタ、其損害ヲ補償シテヤル、斯ウ云フ譯デゴザイマス、其損害ノ

算出ノ基礎ハ何ニ依タカト云フト、色色ヤリ方ガアル、其算出ノ方法モ一ツノ方法デアアルガ、ドウモ相當ナルモノガ出來ナイ、ソレデアアルカラ將來ニ其契約ヲ履行スベカリシ其モノヲ基トシテ算出ヲシタ、何處迄モ其會社ノ被ッタ損害ヲ補償シテヤラウト云フ趣意ニ外ナ

ラヌノデアリマス、ソレデハイカスト仰シヤレバソレハ遺憾ナガラ意見ノ相違ニナルカト考ヘマス、政府ハソレデ然ルベキモノト斯ウ考ヘテ茲ニ算出ノ基礎ヲ立テ來タノデゴザイマス、ソレデヤルナラバ設備ノ方モヤラナケレバナラスト、斯ウ仰シヤレバソレハ一ツノ御議論デアリマス、先ヅ斯ウ申上

ゲル外ハナイカト思ヒマス

○川原委員長 サウシマスト今ノ材料ハ今日中ニ出來マスカ、今應答ニナッタ材料ハ……

○永安政府委員 非常ナ大ナルモノデアリマシテ、御要求ニナルヤウナモノハ今日中ニハ私ハ出來マスマイカト思ヒマス、御要求ノヤウナモノ、例ヘバ建物デアリマストカ、工場ノ名前デアリマ

ストカ、器具機械デアリマスレバドノ機械、例ヘバ「ガントリークレーン」デア

ルトカ、「バンチングメシーン」デアルトカ云フヤウナ色ミナ機械ノ名モ御要求デアラウト思ヒマス、ソレヲ各會社ノヲ集メテ皆様ニ申上ゲルト云フコトハ、一寸今日中ニハ出來ナイト思ヒマス

○川原委員長 サウシマスト今日ノ午後ハ速記ノ都合ガ惡イト云フコトデアリマスカラ、午後ハ開キマセヌ、サウスルト月曜日迄ニ只今應答ノ書類ノ提出ヲ御要求致シテ、今日ハ此程度デ止メタイト思ヒマスガ如何デセウ

「賛成」ト呼フ者アリ

○川原委員長 今日ハ是デ閉會致シマス

午前十一時五十六分散會

大正十五年三月二十日印刷

大正十五年三月二十一日發行

印刷者 民友社